若草中学校区新小学校開校準備委員会 第3回

1. 日 時：令和6年11月28日（木）18：00～20：00
2. 場 所：佐保地域ふれあい会館
3. 参加者：委員 出席18名 欠席8名 オブザーバー2名 奈良市から3名（教育政策課）
4. 内 容
 - ① 当初予定議事の変更内容について報告（岡崎会長より）
 - ・3月議会からの議会動向について整理し、情報の共有化を図った。
 - ・11月7日佐保・鼓阪地区連合会より議会議長に「2小学校統合再編・新校舎建設の早期実現を求める」請願書を提出したこと、奈良市自治連合会より「同様」の要望書を提出する予定であることを報告した。一方12月議会の動向を懸念し、その結果に基づく準備委員会としての活動についても共有化を図った。
 - ② 教育政策課より報告（佐保小学校と鼓阪小学校統合に伴う新校舎建設工事について）
 - ・新校舎建設工事について、12月定例会では9月定例会での指摘を踏まえ提案内容を見直し再度提案した。
 - ・鼓阪小学校は、このままだと令和9年度には複式学級になることが予測される。
 - ・新校舎建設にあたり、これからの学びの方向性を見据え、国の方針も踏まえながら、5つのコンセプトを設定している。このコンセプトは、奈良市の目指す学びを促進するうえで必要であり、今後の校舎建設において道標となる。
 - ・これまで地域と28回説明及び意見交換を実施してきた。それ以外にも当事者である保護者、地域の方々、個別の要望等に対しても時間をかけて何度も話し合ってきた。統合そのものに反対という意見もあるが、1日も早くよりよい教育環境を整えるという本市の方針をていねいに伝え、理解を図ってきた。
 - ・建築資材等の物価が急激に上昇しており、他の自治体においても、学校建設をはじめとする公共工事の入札が不成立になるという事案が起こっている状況である。
 - ・工事費の見直しとして、9月定例会の63億3850万円から、12月定例会では60億7250万円とし、工事費を2億6600万円削減した。佐保小学校と鼓阪小学校を統合し新しい校舎を建設するという目的の国庫補助金を申請しているので、統合せずに校舎だけ建設すると、想定している国庫補助金及び交付税措置が受けられなくなる。
 - ・工事費見直しの内容としては、校舎建設のコンセプトは守りつつ、質や安全性を保ちながら、子ども達の教育に直接影響のない部分を見直した。
 - ・令和8年4月開校予定を、令和9年4月開校と1年延長した。ただし、新校舎は令和8年11月に完成予定なので、佐保小学校の子どもたちは令和8年度の3学期から新校舎を使用する予定である。
 - ・グラウンドについては、工事が実施されるまでの間、約37m使用範囲を拡大して3学期から使えるように現在対応している。なお、すぐに工事にかかれるよう、予備費で対応する。（工事期間：令和6年12月9日から令和7年1月6日までの予定）
 - ③ 現状の確認と今後の対応について
 - ・次の議会で否決されたらどうなるのか。（開校準備委員会）
 - 3月定例会での再度議案提出になると校舎の完成は令和9年の3月になる。令和9年4月に工期が伸びると、国からの補助金は無くなる。（教育政策課）
 - ・各議員に理解を深めていただくべく、ディベートを申し入れる方向で調整する。（開校準備委員会）
 - ・議会の結果次第で、次に集まる日、内容を考える。（開校準備委員会）

次回開催未定